

【出題意図】

緩和ケアおよびエンドオブライフケアにおいて、倫理的ジレンマは臨床で頻繁に生じる重要な課題であり、看護者の役割は大きい。

この問題では、患者が望む療養場所や生活の尊重と、患者の安全確保や家族の介護負担・不安への配慮との間に生じるジレンマを理解したうえで、患者の意思を尊重した意思決定支援、在宅療養に向けた支援体制の整備、院内外が多職種連携などの具体的な支援を考えることが求められる。終末期がん患者の「その人らしい生活」を支える看護の視点から、基本的知識を整理し、考察できる能力を有しているのかについて確認する。